

維持管理専用ユーティリティ利用説明書
～キーライセンス管理編～

JIP テクノサイエンス株式会社

<目次>

1. はじめに	2
1.1. 概要	2
1.2. ライセンスキー	2
1.3. ライセンスの持ち出しとは	3
1.4. インストール	3
2. 管理用ユーティリティ	4
2.1. プログラムの起動	4
2.2. 管理キー内容の確認	5
2.3. 現場持出キー内容の確認	6
2.4. 現場持出ライセンスの設定	7
2.5. 現場持出ライセンスの解除	7
2.6. リモート更新	8
3. 持出登録用ユーティリティ	9
3.1. プログラムの起動	9
3.2. 現場持出ライセンスを PC に登録	9
3.3. 現場持出ライセンスの解除	10
4. お問い合わせ	10

1. はじめに

1.1. 概要

以下の製品は、ハードウェアキーによるライセンス管理が行われています。



- 橋梁点検支援システム「橋視郎」
- トンネル点検支援システム「坑視郎」
- 道路橋の長寿命化修繕計画策定支援システム「長寿郎／BG」
- 漁港施設の機能保全計画策定支援システム「長寿郎／FP」
- 農業水利施設の機能保全計画策定支援システム「長寿郎／AG」
- 港湾施設の維持管理計画策定支援システム「長寿郎／HB」

このユーティリティは、ライセンス管理をサポートするユーティリティ群で、2つのプログラムで構成されています。

登録名	内容
ライセンス管理	登録されているライセンスの内容を確認や更新を行います。
現場持出ライセンス設定	ネットワークから離れたPCに対し、管理キーから持ち出したライセンスを登録・解除を行います。

1.2. ライセンスキー

ライセンスを管理するハードウェアキーには、管理キーと現場持出キーがあります。

管理キー (赤)		プログラムの実行を行うためのライセンス管理を行います。 通常は1台のPC上で運用します。
現場持出キー (緑)		実行ライセンスを一時的に他のPCに持出すために使用します。 登録した後のPCはライセンスキーを使用しなくても運用が可能になります。

注意:

現場持出キーは標準ではシステムに含まれていません。現場持出の仕組みを使用するには、別途現場持出キーを購入する必要があります。現場持出の仕組みは、「橋視郎」および「坑視郎」のみの機能です。

1.3. ライセンスの持ち出しとは

管理キーだけの運用では以下の 2 種類の運用形態がサポートされます。

運用形態	内容
ネットワーク	ネットワークによりライセンスを共有して使用します。 ライセンスは同時使用数で管理されます。 ネットワークから切り離された PC は利用できません。
スタンドアロン	1 台の PC が管理キーのライセンスを専有して使用します。 複数の PC で利用するためには管理キーを持ち歩く必要があります。

ライセンスの持ち出しは、上記の仕組みに加え、一時的に管理キーに登録されているライセンスを持ち出し、ネットワークから切り離された PC に対してもライセンスを与える仕組みです。ライセンスを持ち出している間は、管理キーのライセンス数は減少します。

ライセンスの持ち出しを行うためには、管理キーと対になった現場持出キーが必要になります。

1.4. インストール

提供されるインストールパッケージを任意の位置に保存し、実行してください。

自己解凍が行われ、所定の位置にファイルがコピーされます。

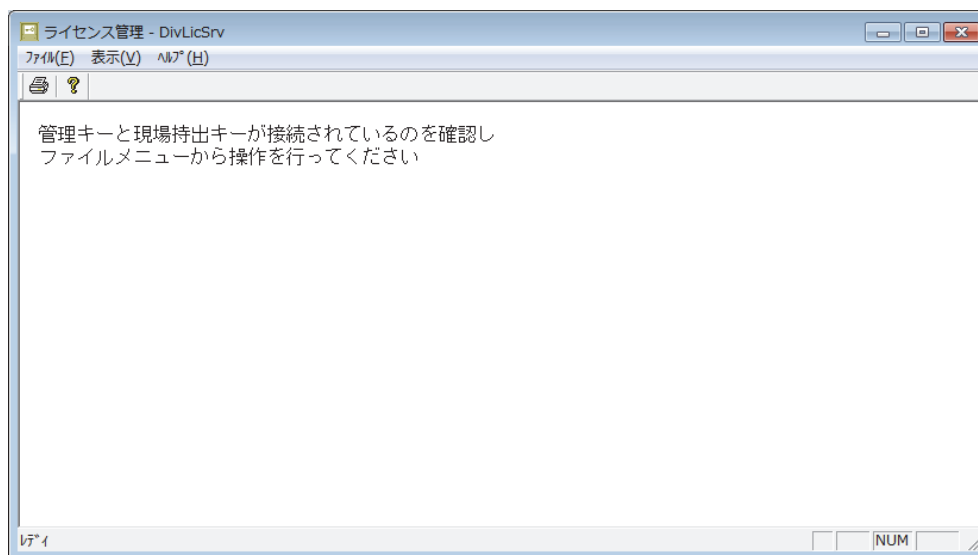
インストールされたプログラムを削除するには、コントロールパネル「プログラムのアンインストール」から、「維持管理シリーズ用ユーティリティ」を選択し、削除します。

2. 管理用ユーティリティ

2.1. プログラムの起動

【スタート】【すべてのプログラム】【JIPTS-NB ユーティリティ】からライセンス管理を選択し、プログラムを起動します。

■起動画面



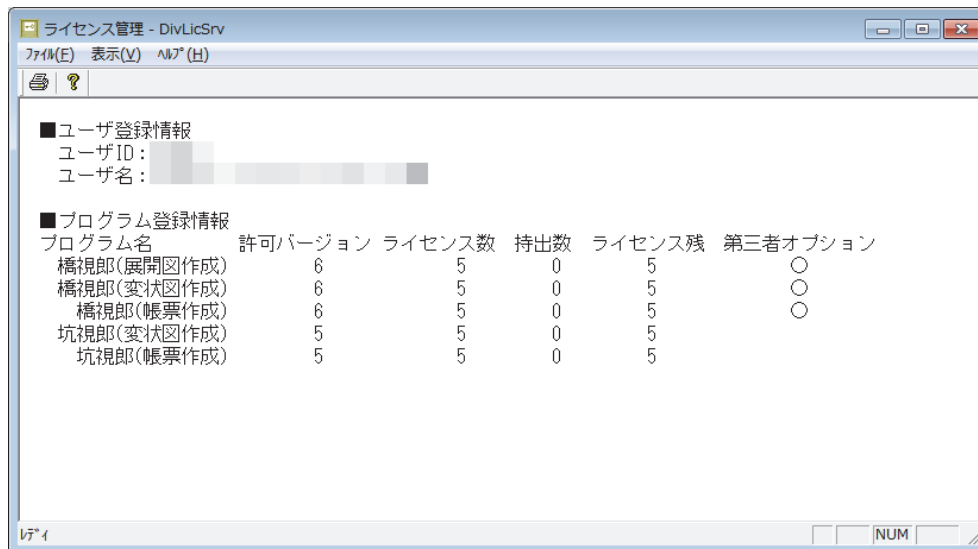
以降操作では、管理キーと必要に応じて現場持出キーが必要になります。

2.2. 管理キー内容の確認

管理キーは必ず接続してください。

【ファイル】メニューから【管理キー内容の確認】を実行します。

キー内容の読み込みが正常に行われると画面上に登録情報が表示されます。



表示される内容

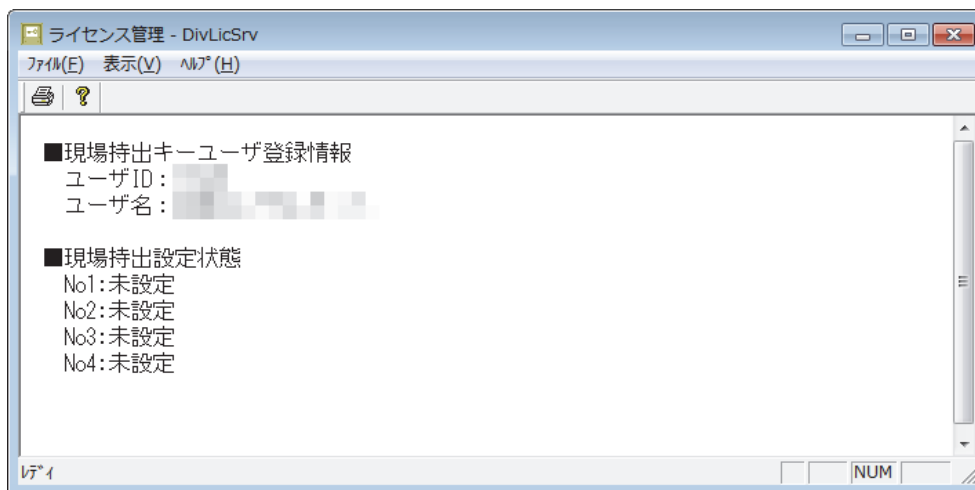
項目	説明						
ユーザ ID	ユーザに割当てた ID。同じ ID の現場持出キーにしか持ち出す事ができません。						
ユーザ名	登録名称						
プログラム名	登録プログラム名						
許可バージョン	許可されているバージョン。1 の場合 1.xx に対し許可されます。						
ライセンス数	購入ライセンス数。						
持出数	現場持出キーで持ち出しされたライセンス数						
ライセンス残	管理キーに残されたライセンス数。 ネットワーク運用の場合この数だけ同時接続が可能です。 ネットワークで使用されている実際の空きライセンス数ではありません。						
第三者オプション (橋視郎のみ)	第三者オプションの有無。橋視郎 Ver3.00 以上のみ。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>第三者オプション購入している場合</td> </tr> <tr> <td>“”</td> <td>第三者オプション購入していない場合</td> </tr> </tbody> </table>	状態	説明	○	第三者オプション購入している場合	“”	第三者オプション購入していない場合
状態	説明						
○	第三者オプション購入している場合						
“”	第三者オプション購入していない場合						

2.3. 現場持出キー内容の確認

現場持出キーは必ず接続してください。

【ファイル】メニューから【現場持出キー内容の確認】を実行します。

キー内容の読み込みが正常に行われると画面上に登録情報が表示されます。



表示される内容

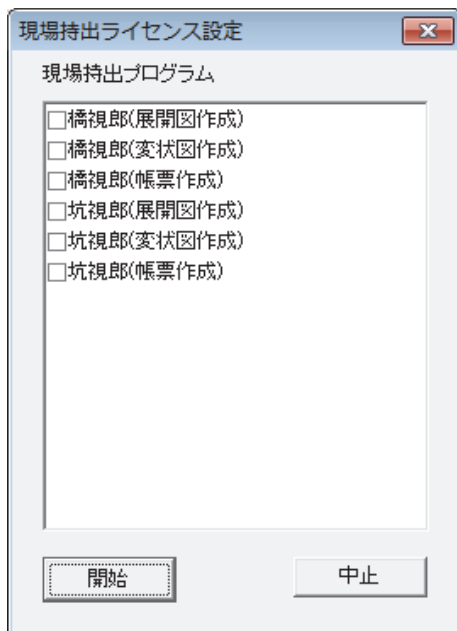
項目	説明										
ユーザ ID	ユーザに割当てた ID。同じ ID の管理キーに対応します。										
ユーザ名	登録名称										
現場持出設定状態	現場持出設定の状態 <table border="1"><thead><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>未設定</td><td>現場持出を行っていない状態</td></tr><tr><td>持出設定</td><td>現場持出キーに現場持出は行っているが、現場持出キーから PC に登録されていない状態</td></tr><tr><td>登録済</td><td>現場持出キーから PC に現場持出ライセンスが登録された状態</td></tr><tr><td>解除設定</td><td>現場持出された PC から現場持出ライセンスが返却された状態</td></tr></tbody></table>	状態	説明	未設定	現場持出を行っていない状態	持出設定	現場持出キーに現場持出は行っているが、現場持出キーから PC に登録されていない状態	登録済	現場持出キーから PC に現場持出ライセンスが登録された状態	解除設定	現場持出された PC から現場持出ライセンスが返却された状態
状態	説明										
未設定	現場持出を行っていない状態										
持出設定	現場持出キーに現場持出は行っているが、現場持出キーから PC に登録されていない状態										
登録済	現場持出キーから PC に現場持出ライセンスが登録された状態										
解除設定	現場持出された PC から現場持出ライセンスが返却された状態										

2.4. 現場持出ライセンスの設定

管理キーと現場持出キーを必ず接続してください。

【ファイル】メニューから【現場持出ライセンスの設定】を実行します。

[現場持出ライセンス設定] ダイアログが表示されますので、現場持出プログラムを選択（チェック ON）し、「開始」ボタンを押下します。



正常に設定されると設定後の情報が、画面上に表示されます。

以下の場合、持ち出しは行えませんのでご注意ください。

- ライセンス残が 0 になっている。
- ライセンス残はあるが、ネットワークで利用されており、持ち出せるライセンスがない。
- 持ち出しが既に最大まで行われており、現場持出情報を保存できる領域がない。

補足:

- ライセンスの持ち出しは最大 4 台の PC に対して行う事ができます。
- ライセンスの持ち出しは 1 台毎に行う必要があります。

2.5. 現場持出ライセンスの解除

管理キーと現場持出キーは必ず接続してください。

【ファイル】メニューから【現場持出ライセンスの解除】を実行します。

現場持出キーの中にある解除情報に基づき、ライセンスを現場持出キーから管理キーに返却させます。

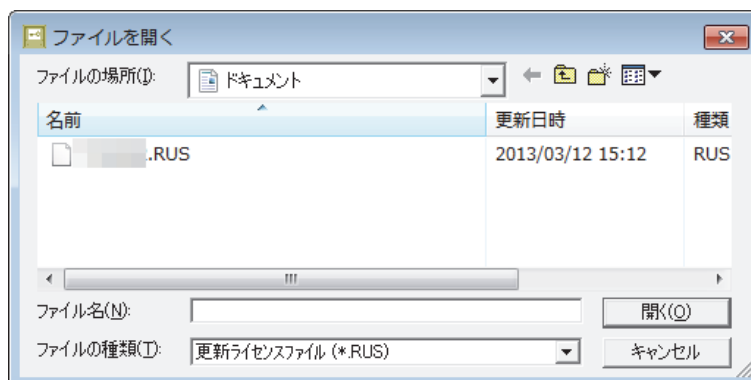
正常に解除されると、ライセンスを復帰させた後の情報が画面上に表示されます。

2.6. リモート更新

管理キーは必ず接続してください。

【ファイル】メニューから【リモート更新】を実行します。

更新ファイルを指定するダイアログが開きますので、更新ファイルを指定します。



正常に更新されると、ライセンスを更新した後の情報が画面上に表示されます。

補足:

リモート更新ファイルは、弊社より、メール等を用いて送付されます。

注意！！

現場持ち出し機能を利用して他の PC にライセンス情報を持ち出している場合は、必ず管理キーにすべての情報を戻してからリモート更新作業をしてください。

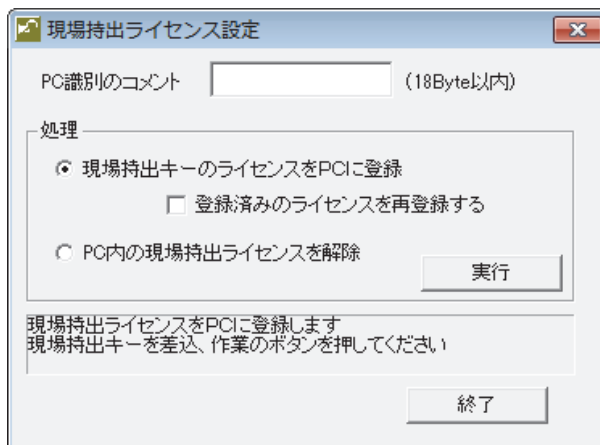
持ち出しているかどうかは、2.2 管理キー内容の確認で表示される画面情報の“持出数”列が 0 になっていることを確認してください。

3. 持出登録用ユーティリティ

3.1. プログラムの起動

【スタート】【すべてのプログラム】【JIPTS-NB ユーティリティ】から現場持出ライセンス設定を選択し、プログラムを起動します。

■起動画面



項目	内容
PC 識別のコメント	ライセンス移動時にトラブルがあった場合、対象 PC を識別するために使用するコメントを入力します。
処理	・現場持出キーのライセンスを PC 内に登録する ・PC 内の現場持出ライセンスを解除し、現場持出キーに戻す 上記の何れかを選択します。

3.2. 現場持出ライセンスを PC に登録

現場持出キーに登録された現場持出ライセンスを、PC に登録します。この処理を行う前には、事前にサーバ側のユーティリティで現場持出ライセンスを設定し、PC に挿しておく必要があります。

以下の場合、現場持出ライセンスを PC に登録できません。

- 現場持出ライセンスがない。
- 既に PC 内に登録ライセンスがある。

■登録済みのライセンスを再登録する

PC が破損するなどして、ライセンスを返却する前に、ライセンス情報が失われる場合があるときは、「登録済みのライセンスを再登録する」をチェックして、ライセンス登録を実施します。現場持出キーに保存されている内部で生成された PC の識別情報と一致した登録済情報がある場合、その情報を用いて再度 PC に情報を作成します。

3.3. 現場持出ライセンスの解除

PC内に登録されているライセンスを解除し、登録されていたライセンスを現場持出キーに返却します。

返却されたライセンスは、管理用ユーティリティを用いて、管理キーに返却して下さい。

4. お問い合わせ

お問い合わせにつきましては、弊社ホームページに「お問い合わせフォーム」をご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

<https://www.jip-ts.co.jp/contact/support.html>